

春の叙勲受章者のご紹介

旭日双光章

設樂 一夫氏

設樂一夫氏（皆野）が、4月29日、春の叙勲で旭日双光章を受章されました。

設樂氏は、昭和59年から10年間、皆野町議会議員として活躍された後、平成6年4月の町長選挙で初当選してから3期12年間の長期間にわたり皆野町長として豊富な知識と経験をいかし、町政の発展に広く貢献されました。

また、秩父広域市町村圏組合管理者、秩父郡町村会長、埼玉県町村会副会長および皆野町農業委員会会長などを歴任されました。

これらの永年にわたる功績が認められ、このたびの受章となりました。

瑞宝単光章

鈴木 林司氏



鈴木林司氏（国神）が、4月29日、春の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。

鈴木氏は、昭和27年から平成3年まで、39年の長きにわたり埼玉県警察に在職し、街頭におけるパトロール、凶悪事件の犯人検挙、防犯指導および交通事故防止など、地域住民の日常生活の安全と平穏を守り、埼玉県の治安維持に尽力されました。

これらの永年にわたる功績が認められ、このたびの受章となりました。